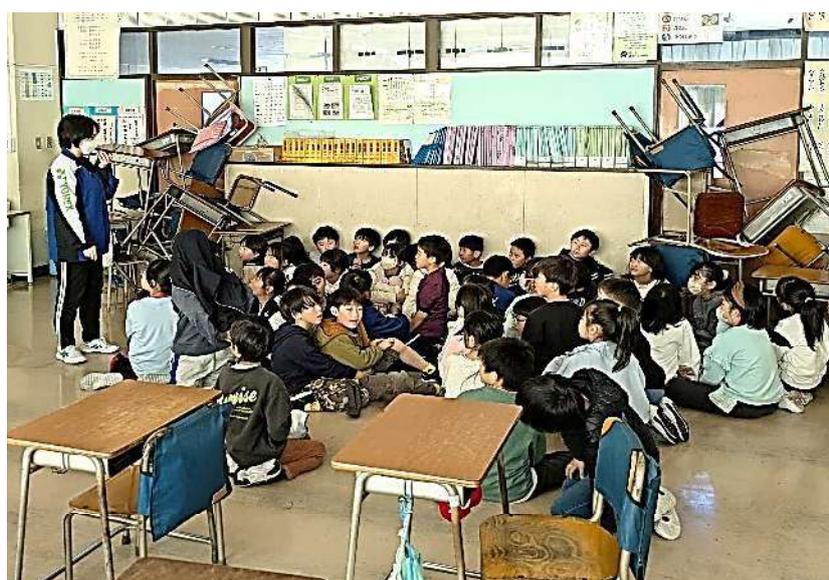


IV 「生活安全（防犯を含む）の充実」 に向けた取組 実践協力校：石巻市立中里小学校



「生活安全（防犯を含む）の充実」に向けた取組

石巻市中里小学校

1 ねらい

- ①校地内に不審者が侵入した場合に、不審者侵入を全校に伝える伝達経路、学級担任以外の教職員の動きを確認し、学級担任を含む全職員で共通理解を図る。（職員）
- ②不審者が侵入した情報を元に、臨機応変に安全な場所に避難する方法について理解する。（児童）

2 テーマ

防犯カメラとトランシーバー、さすまたを活用し、不審者が校地内に侵入したときの対応ができるか、検証する。

3 指導時数 学校行事… 1 時間 学級活動… 1 時間（防犯教室）

4 指導の流れ

時刻	活動の流れ	内 容	☆備考 ◆準備物
		職員室の動き	
10 : 35	1 不審者出沒 2 不審者発見	○第一発見者が、職員室の監視カメラのモニターで不審者（石巻警察署の方）が校地内に侵入したことを確認し、教頭へ報告する。	☆不審者役（石巻警察署の方）にお願いして実施。
10 : 38	3 対応の指示	○不審者侵入の報告を受け、教頭が校長に報告する。校長は、教頭等に対応を指示する。	☆さすまたやほうき等を持ち、現場に急行する。
10 : 40	4 緊急放送 対応	○教頭の指示を受け、事務職員と教務主任が昇降口へ行き、不審者の様子を観察する。 ○不審者がインターフォンを鳴らしたため、教頭が職員室で応答し、その後、昇降口へ行き、不審者に対応する。 ○警察へ通報する。始めに養護教諭が不審者侵入の旨を警察に通報し、次に事務職員が犯人の特徴等を通報する。 ○教頭の指示を受け、教務主任がトランシーバーで教職員に応援を要請する。 ○教務主任が校内放送で全校に避難指示を出すとともに、応援職員はさすまたをもって現場に急行する。	◆さすまた、ほうき、はしご、椅子、防刀手袋、催涙スプレー、トランシーバー等
		校内放送 「不審者が〇〇（場所）に侵入。直ちに避難行動を取って下さい。」	トランシーバーでの報告の仕方 「〇年生です。在籍〇名、欠席〇名、〇名全員無事避難完了しました。」 ※1年生から順番に報告する。
10 : 50	警察到着 身柄確保	○校長が、担任に児童の避難完了の報告をするよう指示を出す。担任から報告を受ける。 ○養護教諭は怪我をしている児童の対応をする。	
10 : 55	訓練終了の周知	○校長、事務職員は、職員室で警察の到着を待つ。 ○警察官が到着し、不審者の身柄を確保。	
11 : 00	警察の方による 全体指導 (校内放送)	○教頭、教務が警察に不審者の身柄を引き渡す。教頭は校長に報告する。校長が避難解除を指示。 ○事務が校内放送で避難解除を周知する。	

時刻	活動の流れ	教室での動き（学級担任、児童）	☆備考 ◆準備物
10：41	1 避難行動開始	<p>○不審者侵入の知らせを受けて、担任は児童をすぐに教室に入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生と特別支援学級児童…2階5年生フリースペースに移動 ・2年生…2階3年生教室に移動 ・5年生、6年1組児童…ベランダを通過して6年2組教室に移動 <p>○現場に向かう担任は、学級の児童の在籍と欠席状況について、教室に残る担任に伝えてから現場に向かう。</p> <p>○教室に残る担任が教室のドアを施錠し、バリケードを作る。カーテンを閉め、出入り口から離れたところで児童を静かに待たせる。</p>	<p>☆不審者との距離を取るため、一階教室の児童は二階以上の教室に避難する。</p> <p>☆児童を移動させた後、教室に残る担任が教室付近の窓やドアの施錠、バリケード作りを行う。</p> <p>応援に向かう担任は、トランシーバーで不審者の情報を共有しながら、さすまた等を持って現場に急行する。</p>
10：50	2 避難行動完了の報告をする	<p>○校長の避難完了の報告の指示を受け、トランシーバーを使って避難行動が完了したことを報告する。 (報告の順番：1年生→特別支援学級児童→2年生→3年生→4年生→5年生→6年生)</p>	
11：00	3 振り返り	<p>○訓練終了後、訓練の振り返りを行う。児童が落ち着いて話を聞くことができるよう、指示を出す。</p>	

5 成果と課題

- トランシーバー等を活用し、不審者の特徴等について、職員間で共有できた。
- さすまたの本数が十分あり、複数人で対応したため、短時間で取り押さえることができた。
- 不審者に対して、落ち着いた声掛けができていた。
- 避難完了を報告する際に、担任が在籍数なども伝えていたのが、具体性がありよかった。
- 不審者が別の場所から侵入した場合の避難経路を考慮しておく必要がある。
- 警察への通報は、携帯電話など固定電話以外の方が、通報者も緊急時に避難することができる。
- 不審者が侵入した現場から応援を求める際は、「何のために応援に来てほしいか」を明確にする必要がある。



6 生活安全の取組に係る評価

	項目	評価	評価に係る具体的な姿・根拠等
1	職員の安全意識や技能	A	不審者対応研修会で得た知識を、実践でも発揮することができていた。職員間で連携し、不審者に対応する様子が見られた。
2	児童の安全意識や技能	A	当日は欠席者もおらず、不審者訓練に意欲的に取り組む様子が見られた。また、訓練では私語がなく、落ち着いて避難行動をとることができていた。

A「大いに高まった」 B「やや高まった」 C「変わらない」 D「低下した」